

平成21年度

「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ」の出題の趣旨

第1問（配点40点）

D社の財務諸表と同業同規模の健全企業の財務諸表が与えられた場合、財務指標からD社の問題点を発見する経営分析能力を問う問題である。

第2問（配点20点）

（設問1）

今期の総資本営業利益率に不確実性が存在する場合、その影響によって税引前自己資本利益率の期待値がどの程度になるかを計算し、財務レバレッジについて分析する能力を問う問題である。

（設問2）

負債の返済によって負債比率を低下させた場合に、財務リスクがどのように変化するかを分析し、その効果を分析する能力を問う問題である。

第3問（配点20点）

（設問1）

売上高の減少が利益にどのような影響を与えるかについて、営業リスクの分析能力を問う問題である。

（設問2）

問題文中の環境の下、仮に売上高が減少した場合でも利益をあげられるように、どのような経営改善策を提案すべきか、特に営業レバレッジの視点から分析・提案する能力を問う問題である。

第4問（配点20点）

（設問1）

問題文にあるD社の経営状況で、外貨建て売上高の為替リスクについて分析する能力を問う問題である。

（設問2）

外貨建て売上高の変動を前提として、為替リスクをどのように管理するか、その方策について提案する能力を問う問題である。

以上